

令和元年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	教育部
部(局)長	福島 潔
教育監	岡本 泰典(学校教育担当)

【基本方針】

義務教育を取り巻く環境は急速に変化しています。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地方教育行政の責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化などが求められました。これを受け、平成27年度から総合教育会議が定期的開催され、平成26年3月策定の「柏原市教育振興基本計画」の後期計画である改訂版(平成29年度から平成31年度まで)を策定し、平成29年5月開催の第1回総合教育会議において、市長が定める教育に関する「大綱」に位置付けられました。このような中、令和2年4月には小学校、令和3年4月には中学校で新しい学習指導要領が本格実施されます。改定の主な趣旨は「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すことであり、保護者・地域の皆さまのお力添えをいただきながら、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を達成していく事が謳われています。

これらを踏まえ、学校教育においては、学校に関わる全ての人の人権を尊重する中で、本市の教育理念『「かしわらっ子」はぐくみ憲章』(平成20年策定)にある「15の春にひとすじの意志をもったひたむきな姿勢をつらぬく若者の育成」を期して取り組みます。

また、生涯教育においては、市民の生涯学習の機会を促進・充実させるような教育行政を市民と協力しながら推進していきます。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	学校に関わる全ての人の人権を大切にする取組みを進めます。	B
2	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。	B
3	教育機会の均等と確保	A
4	学習意欲の向上や確かな学力の向上	B
5	安全、安心な教育環境の整備	B
6	誰もが学びたいときに学べる多様な学習機会を提供します。	B
7	誰もが気軽に楽しめる生涯スポーツを提供します。	B

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 1	学校に関わる全ての人の人権を大切にすることを進めます。
--------	-----------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>①柏原市人権教育基本方針に則り、自他の人権を尊重し合った豊かな人間関係づくりを基に、子どもたちの発達段階に応じた協力的・参加的・体験的な人権教育を推進します。</p> <p>②教職員自身がさまざまな人権問題についての認識を深め、確かな人権感覚をもって子どもたちに伝え、正しい理解と認識を深めさせていくことで、真に人権が尊重された社会を担う人間の育成に努めます。</p>
---------------------	---

活動目標
人権に関わる各種研修をとおして、教員の人権問題についての認識を高め、確かな人権感覚を育成します。
子どもたちの学校生活の状況を把握すると同時に、いじめの未然防止、早期対応に活かします。

具体的な取組実績
<p>夏期フィールドワーク研修1回、秋期人権研修1回を実施しています。</p> <p>また、人権教育研究会に補助金を出しており、年間9回の委員会を開催し、人権教育の在り方について研究しています。総会、幼・小・中合同実践交流会、学習会を年1回ずつ行い、教員の人権意識を高めています。</p> <p>さらに、府内・全国の人権学習会に参加できるようにもしています。各中学校区で研究を行い、年度末に報告し、実践の共有を行っています。</p>
<p>年2回全児童・生徒に対して生活アンケートを行い、結果を「柏原市いじめ問題対応委員会」で共有し、研究を行っています。各校では、日頃からクラスの実態把握に努めると共にアンケート結果を参考に、未然防止の観点から、いじめが起りにくい学級の雰囲気作りの醸成に努めています。</p> <p>また「学校いじめ対応委員会」で学校全体の客観的な状況を示しながら、スクールカウンセラー等の専門家も交えて早期の組織的対応を実施しています。</p> <p>さらに、児童生徒の困っていることや悩みを引き出すために、必要に応じて個別に教育相談を行っています。</p>

達成目標
各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
市民意識調査の「教育指導」の満足度について、ほぼ前回同様の数値を維持しました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>人権感覚の育成については、研修機会や内容の充実を図り、教員の認識を高めることができました。それにより、正しい理解と認識を持って指導にあたることができました。今後は、多岐に渡る人権課題についても参加的・体験的な学習ができるよう、さらなる研究が必要であると考えています。</p> <p>SNS等での子ども同士の関係についても生活アンケートをとおして実態把握し、いじめ等の未然防止にあたることができました。今後もアンケートのみならず、学校教育活動全般において、確かな人権意識を高められるよう指導に努めていきます。</p> <p>また社会とともにある学校をめざし、社会全体で人間形成が行えるよう家庭や地域との連携を密にしていきます。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 2	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。
--------	-----------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>教育委員会、学校、家庭、地域が連携・協働して、以下に取り組みます。</p> <p>①「確かな学力」：「かしわらっ子はぐくみプラン（第2期柏原市学力向上3カ年計画）」に基づき、新学習指導要領で求められる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」の育成を目指します。</p> <p>②「豊かな心」：教科化された道徳を軸に、人権教育、キャリア教育の充実をとおして、いじめや不登校、問題行動の減少を目指すとともに、夢や志をはぐくむ教育活動の充実を目指します。</p> <p>③「健やかな体」：保健体育や食育の充実により、将来にわたり体や健康に留意し、自己管理できる力の育成を目指します。</p>
---------------------	--

活動目標
<p>市独自で、児童の学力と個性や心の在り様も調査する「かしわらっ子はぐくみテスト」を継続実施し、効果的な活用により、学力向上と個性の伸長等につなげられるよう学校を指導します。</p> <p>中学校においては、学力向上推進講師による放課後学習等を引き続き実施します。</p>
<p>昨年度、小学校で始まった「特別の教科 道徳」を引き続き適切に進めるとともに、本年度の中学校での実施を円滑に進めていきます。</p>

具体的な取組実績
<p>本年度も12月に、小学校の1年生から6年生までを対象に「かしわらっ子はぐくみテスト」を実施しました。</p> <p>市全体で向上をめざしている「書く力」については、記述式問題の正答率が全国を上回り、全国比（全国を50とした時の数値）では昨年度の50.80から52.16と上昇しました。</p> <p>中学校における放課後学習については、各校での講義を1校につき15回程度実施しました。</p> <p>また、夏季休業期間に英検3級対策講座を10回実施しました。</p>
<p>道徳教育推進教師連絡協議会を5月と12月に開催し、質の高い授業の実践がなされることと、小中学校の「特別の教科 道徳」が年間35時間（小学校1年生が34時間）確実に実施されることをめざして啓発を行いました。</p>

達成目標
<p>各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めます。</p>

達成状況	達成度
<p>市民意識調査の「教育指導」の満足度について、ほぼ前回同様の数値を維持しました。</p>	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>「確かな学力」については、第1期柏原市学力向上3カ年計画の成果を確認すると、小学校、中学校ともに「書く力」が向上していることがわかりました。一方、大阪府や全国には届いていない学力項目が多いこともわかりました。今年度は第2期柏原市学力向上3カ年計画を踏まえ、育成した力を活用する取組みや研修を実施しました。各校でどのような伝達や取組みが行われたのかも確認できたことで、来年度の小学校、再来年度の中学校での新学習指導要領完全実施に向けての学力向上方針を共有する土台を作ることができました。またICT教育推進リーダー会議と共同し、子どもの学びと機器の活用方法について議論を深め、意見を交流することができました。</p> <p>「豊かな心」については、各校において年間授業時数の確保を行うことについては、概ね達成できました。深い学びにつながる授業の質的向上が今後の重点課題と捉えています。</p> <p>「健やかな体」については、国や府から提供された資料を確実に市内に伝達することができました。また、大阪教育大学の協力を得て、新体力テストの正確な実施に努めました。今年度も体力テストの結果を分析し、市内に公表する予定です。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 3	教育機会の均等と確保
--------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	子どもが教育を受ける環境を均等にするため、学校の適正規模・適正配置を推進します。
---------------------	--

活動目標
より良い教育環境と効果的な学校教育の実現を目指します。
教育環境の均等を推進し、安全・安心な教育環境を目指します。

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ○国分小学校・国分東小学校統合準備委員会を18回開催し、取組を進めました。 ○統合後の不安解消のため、学年間交流を28回実施しました。 ○備品の整理、移動とともに、トイレやスロープを整備しました。
<ul style="list-style-type: none"> ○通学区域審議会で出された懸案事項解消のため、都市デザイン部と連携し、通学路整備を進めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ、巻き看板の設置 ・路側帯の拡張とグリーンベルトの設置

達成目標
国分小学校・国分東小学校の統合を進めます。
統合により、遠方から通うことになる児童の安全な通学について取組みます。

達成状況	達成度
<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年2月9日 閉校式典実施 ○令和2年3月31日 閉校 	A 達成
<ul style="list-style-type: none"> ○市内循環バスの利用 ○行事や緊急対応の際はタクシーチケット利用 	A 達成

総合評価・総括
<p>「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、子どもが教育を受ける環境を均等にするため、国分東小学校と国分小学校を統合しました。統合にあたって、最も心配されていた児童の安全と安心については、学校間での交流を重ねる中で、友だちが増えることを楽しみにする児童が増えてきました。児童の前向きな発言とともに、保護者の不安も減少しました。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 4	学習意欲の向上や確かな学力の向上
--------	------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	ICT機器の導入と活用を図ります。
---------------------	-------------------

活動目標
小学校・中学校へのICT機器の導入を進めます。
導入したICT機器の活用を図ります。

具体的な取組実績
小学校・中学校のパソコン教室のパソコンと校務用パソコンを入れ替えました。
4月にICT活用推進準備委員会とICT教育推進リーダー会を立ち上げ、機器導入前から先進市を視察する等、活用のイメージを共有しました。導入後の9月以降も、ICT教育推進リーダーが中心となって各学校にて機器を活用した実践を重ね、会議で互いに交流したことをはじめ、「広報かしわら」に実践例を2回掲載しました。

達成目標
小学校・中学校のパソコン室のパソコンおよび教職員一人1台のパソコンを新しいものに入れ替えます。
導入したICT機器の活用を推進するための研修を実施します。 また、校内研究授業を行います。

達成状況	達成度
小学校・中学校のパソコン室のパソコンおよび教職員一人1台のパソコンを新しいものに入れ替えは完了しました。	A 達成
導入後の8月にはまずプログラミング教育に関する研修を実施し、9月からは各校において学習支援ソフトに関する研修を2回実施したことをはじめ、同時に導入した統合型校務支援システムについての研修も全校で複数回実施し、有効な活用にむけて取組みを進めました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>機器の導入については、計画通りに進捗しました。次年度以降も国の「GIGAスクール構想」に基づき、国が示すロードマップを基本に導入を進めていきます。</p> <p>活用方法については、研修等を実施しながら学力向上をめざし、新学習指導要領に沿った「主体的・対話的で深い学び」をICTを活用しながら実践していくことが次年度の重点課題です。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 5	安全、安心な教育環境の整備
--------	---------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	子どもたちが安全で安心な環境で学び、生活できるよう教育環境の質的向上を図ります。
---------------------	--

活動目標
小学校8校の普通教室に空調設備を設置します。
国分中学校グラウンドの整備工事を進めます。

具体的な取組実績
小学校8校の普通教室への空調設備設置工事を行いました。
国分地区会や住民説明会などを実施し、準備工事が進行中です。

達成目標
小学校8校の普通教室への空調設備の設置を完了します。
国分中学校グラウンドの第1期分整備工事を完了します。

達成状況	達成度
小学校8校の普通教室への空調設備の設置が完了しました。	A 達成
国分中学校グラウンドの工事工程に基づいた第1期分整備工事については完了しました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>小学校8校への空調設備設置工事が完了することにより、柏原市立小学校・中学校の普通教室全室に空調設備の設置が完了します。</p> <p>国分中学校グラウンド整備工事につきましては現在準備工事を行っており、令和2年度には本格的な整備工事を開始します。</p>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 6	誰もが学びたいときに学べる多様な学習機会を提供します。
--------	-----------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	①子どもが学校生活以外の場で家庭や地域社会との関係が深まるよう、青少年健全育成の取組みを行います。 ②子どもから高齢者まで、多様な学習環境を整えるため、生涯学習事業の充実に取り組みます。
---------------------	--

活動目標
青少年の健全育成活動として、通学時の見守り活動や放課後子ども教室(のびのびルーム)の開催、自然体験施設等を活用し、市民の生涯学習の充実に努めます。
学校以外で楽しく学ぶことのできる青少年講座を開催し、学べる機会を増やします。
公民館や図書館、歴史資料館等を活用し、市民の生涯学習事業の充実に努めます。

具体的な取組実績
766人の登録ボランティアによる通学時の見守り活動を実施しました。 放課後子ども教室(のびのびルーム)は、計192回開催しました。 「楽しく学ぶ防災教室」を自然体験学習施設において44人の参加者を集め実施しました。
青少年講座【釣り入門講座6回、科学講1回、歴史講座1回、昆虫観察講座3回、星空観察講座2回及びハンドクラフト(革細工)講座1回】を計14回開催しました。 対象者は小学1年生～中学3年生で計315人でした。
歴史資料館では、企画展を4回、文化財講演会を2回、市民歴史大学を4回、体験講座を2回開催し、講座を4講座開講しました。 公民館(本館・分館)の利用案内パンフレットを公共施設に配架し、市民の皆様へ貸館案内の周知を図り多くの方に利用して頂けるよう努めました。

達成目標
市民意識調査の「青少年の健全育成」「生涯学習」の満足度を高めます。
子どもたちの学べる機会を増やすため、地元大学の協力を得て青少年講座を増やします。
公民館や図書館、歴史資料館等の利用人数を増やします。

達成状況	達成度
市民意識調査のうち「青少年の健全育成」の満足度は3.38となり満足度が前回調査より0.03ポイント上昇しました。	B 概ね達成
青少年講座の開催回数につきましては、前年度と同数となりました。講座の参加人数は、昨年度より136人増加し、315人の参加がありました。	B 概ね達成
図書館の利用者数と貸出冊数 貸出人数112,638人、図書貸出冊数412,238冊 「お話し会」などのイベント参加者数5,109人 歴史資料館では、企画展を4回、文化財講演会を2回、市民歴史大学を4回、体験講座を2回開催し、講座を4講座開講 公民館(本館、堅下分館、国分分館)の利用者数は、52,513人(R2、1月末現在)、市民文化祭(10月5～20日開催)9,730人の参加をいただきました。	B 概ね達成

総合評価・総括

青少年の健全育成を図るためには学校教育のみならず、社会教育についても非常に重要であると考えております。今回の市民意識調査では昨年度より満足度が上昇しましたことから、引き続き市民のニーズに合う青少年講座等を開催するとともに、今後とも児童や生徒たちが地域と密接につながるよう、社会教育関係団体と連携を図りながら、生涯学習に対する意識の向上に努めてまいります。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点課題 7	誰もが気軽に楽しめる生涯スポーツを提供します。
--------	-------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	スポーツによる健康増進を図るため、身近な地域で気軽にスポーツを親しめる機会の充実に努めます。
---------------------	--

活動目標
<p>体育館やサンヒルスポーツセンター、堅下北スポーツ広場などのスポーツ施設を運営し、市民に身近でスポーツに親しめる場所を提供します。</p> <p>また、誰もが参加できる「スポーツフェスティバルin柏原」や「柏原シティキャンパスマラソン」等を開催します。</p> <p>さらに、柏原の自然を活かしたカヌー教室を開催します。</p>

具体的な取組実績
<p>市民に身近でスポーツに親しめる場所を提供するため、平成31年4月1日から、グラウンドと多目的広場を有する堅下北スポーツ広場を新たにオープンさせ、令和2年2月末現在で18,438人の利用者がありました。</p> <p>また、「スポーツフェスティバルin柏原」には3,620人が来場され、参加者が各種スポーツに親しまれました。</p> <p>「柏原シティキャンパスマラソン」には、820人のランナーがエントリーされ、大阪教育大学内のアップダウンの激しいコースに挑戦されました。</p> <p>さらに、今年度は新たに大和川でカヌー教室を開催し、柏原市の豊かな水辺の自然を水上から体験していただきました。</p>

達成目標
<p>市民意識調査の「スポーツ振興」の満足度を高めます。</p>
<p>(新規)カヌー体験教室を開催します。</p>

達成状況	達成度
<p>市民意識調査のうち「スポーツ振興」の満足度は3.27となり、満足度が前回調査より0.03ポイント上昇しました。</p>	<p style="font-size: 2em;">B</p> <p>概ね達成</p>
<p>カヌー教室を開催し、16名が参加され、参加者から好評を得ました。</p>	<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>達成</p>

総合評価・総括
<p>本年度は、市民が身近な地域でスポーツやレクリエーションを楽しめるように、堅下北スポーツ広場をオープンさせ、多くの方に利用していただきました。</p> <p>また、大和川にてカヌー教室を開催し、スポーツを通じて柏原の水辺の自然を体験していただきました。</p> <p>市民意識調査では「スポーツ振興」の満足度は高まりましたことから、次年度もカヌー教室を行うと共に、堅下北スポーツ広場をより利用し易くするため、開場時間の延長を行ってまいります。</p>